

数Ⅱ 【微分法と積分法】微分法の方程式への応用

2011 名古屋大学 法・経済・文・教育・情報文化学部（前期）【1】

- (1) 関数 $y = x^3 - x^2$ のグラフをかけ。
- (2) 曲線 $y = x^3 - x^2$ の接線で、点 $(\frac{3}{2}, 0)$ を通るものをすべて求めよ。
- (3) p を定数とする。 x の3次方程式 $x^3 - x^2 = p(x - \frac{3}{2})$ の異なる実数解の個数を求めよ。

p の値を変化させ、 $y = x^3 - x^2$ と $y = p(x - \frac{3}{2})$ の共有点の個数を調べることができる。

